

## 『里山の自然をまもり育てる

### - 里地・里山の評価とその保全にむけて - 』

■日時:平成13年11月19日(月)10:00~17:00

■会場:JAホール(東京・大手町)

■主催:ニッセイ財団 ニッセイ緑の財団

■後援:農林水産省、国土交通省、環境省、  
全国農業協同組合中央会、(社)農村環境整備センター、  
(財)森林文化協会、(財)日本野鳥の会、  
(財)日本自然保護協会、(財)世界自然保護基金ジャパン

#### <プログラム>

●開会挨拶(10分)

ニッセイ財団

●研究報告

広木チーム研究報告(代表研究者総括報告20分、研究報告30分)

代表研究者総括報告

「里山の生態学における諸問題」

名古屋大学大学院 人間情報学研究科 教授 廣木 詔三

研究報告1.

「東海丘陵要素の起源と進化」

金沢大学大学院 自然科学研究科 教授 植田邦彦

研究報告2.

「東海地方の植生の特色」

横浜国立大学大学院 環境情報研究院 教授 菊池多賀夫

研究報告3.

「『里山の指標としてのトンボ』-『海上の森』におけるトンボ相の特徴を例として-」

名古屋女子大学 家政学部 教授 八田耕吉

武内チーム研究報告(代表研究者総括報告20分、研究報告30分)

代表研究者総括報告

「里山の環境変遷と里地の自然保全戦略」

東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授 武内 和彦

研究報告1.

「里山ボランティアのあり方-桜ヶ丘公園雑木林ボランティアの意識と現実」

明治大学 農学部 助教授 倉本 宣

研究報告2.

「生物資源としての里山の利用可能性」

神奈川県自然環境保全センター 研究部 専門研究員 中川 重年

●総合討論の前に(30分)

「今なぜ里山か」

東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授 鷺谷 いづみ

●総合討論(110分)報告者全員

コーディネーター

東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授 鷺谷 いづみ

(敬称略)